



なまじり

平成26年 7月号 タイトル題字 3年 岩本 珠那



全校で校歌練習

7月4日 (金)

本校で音楽を担当されている中村絢子先生にご指導を受け、校歌練習を行いました。先生から歌う時の基本姿勢から歌う時のポイントなどわかりやすく教えていただきました。2・3年生が元気にお手本を見せてくれるので、1年生もだんだん歌う声が大きくなりました。

おかげで、18日の終業式にはとても上手に元気よく歌えたと思います。

SYD 出前講座・課外授業

7月11日(金)

清水文化センターで公益財団法人修養団・SYDの青木氏・山口氏を招き、『貧困と共に生きる子供たち～私たちにできること～』という題で講演していただきました。

SYDは、明治39年に東京師範学校の学生達によって創立されました。現在は、子どもの自然体験キャンプや被災地復興のボランティアをしたり、全国の小学生以上の学生たちに有志を募り、フィリピン等アジア各国に出かけ、ストリートチルドレンの支援を行っています。

久野原小学校5・6年生、八幡中学校1年生も参加してくれ、真剣に耳を傾けました。

『貧しい地域に住んでいる子どもたちは、自分のためだけじゃなくて、親や家族のために働いているというのがとてもびっくりしました。ある子どもの夢が「お腹いっぱいご飯を食べる」ことだったのが信じられませんでした。』(2年女子感想)

『ゴミを拾い集めて少しのお金で生活しているにもかかわらず、日本のボランティアの人々にプレゼントしたりするきれいな心にとっても感動しました。人間の強さやすばらしさを改めて感じる事ができ、明日からもっと優しい心が持てるだろうと思いました。』(3年女子感想)

『ご飯を十分に食べられない子どもの方が私より大人で、心が温かい人たちだと思います。日本なら精神的にも落ち着いて生活することができるはずなのに、犯罪や殺人などが起こって、その貧しい国の子どもを見習うべきだと思います。暮らしが豊かになるにつれて、心が貧しくなるなんて本当の豊かさではない、これからはもっと思いやる気持ちを大切にしたいと思います。』(3年女子感想)

本当の豊かさって？一生懸命生きるって？フィリピンの子どもたちの「親の助けになりたい」という共通の思いや優しさはどうやって育まれるのか？色々と考えさせられた時間でした。



生徒会役員が八幡中へ

7月14日 (月)

生徒会役員5名が八幡中3年生22名に清水分校を紹介しました。パンフレットやスライドで主な学校行事やクラブ、特色のある授業、主な進学先や就職先について説明しました。次に分校の卒業生3名からのメッセージをビデオレターの形で流しました。分校の良いところを少しアピールできたのではないかと思います。

地元中学校との連携をより一層深め、運動会などの行事にも参加させていただき、生徒同士の交流を進めていきたいと考えています。



1・2年生・通学路の清掃活動

7月17日 (木)

1学期の締めくくりとして、学校周辺の清掃活動を行いました。駐輪場下から校門へと続く坂道の両脇に溜まった枯れ葉を集めました。職員と生徒が協力して作業した通学路は、見違えるようにきれいになりました。一生懸命に作業し、汗もいっぱいかいたので、いただいた飲み物が格別おいしく感じられました。



8月の行事予定

8 / 4	県生徒会連絡協議会	8 / 6	登校日・平和学習	8 / 20	一斉除草作業
8 / 27	2学期始業式	8 / 29	生徒会・白馬中学校訪問		